

守山まるごと活性化 議事要旨

作成日:2017/12/22

作成者:山本

会議名: 第5回ふるさとづくり委員会グループリーダー及びビジョン研究チーム会議

日時: 平成29年12月5日(火)

場所: 速野会館小会議室

出席者: 山本光男、岡本善広、今井寿一、大井豊、伊藤潔、西村寛、高谷満廣、宮川美紀子、今井孝雄
藤川祐子、山岡龍二

出席者(行政): 速野会館 赤井館長、山本 地域振興・交通政策課 高山主任

使用資料:

議題

各プロジェクトの進捗状況および検討について、今年度の報告と次年度の計画について、
今後の各プロジェクトの事業展開について

会議要旨

内容

1 各プロジェクトの進捗状況および検討について

- A: 12/10(日)四季桜のつどい開催(Cプロジェクト連携)。サイクリング体験を実施する。
- B: 11/4(土)歩こう会「速野の自然・歴史を巡る」を開催。19名の参加者。
- C: 12/10(日)四季桜のつどい開催。四季桜観賞、甘酒・ハマヒルガオ饅頭ふるまい、
各種体験コーナー(サイクリング(Aプロジェクト連携)、クラフト(森づくりセンター)、ノルディック)を設
12/9(土)四季桜つどい前日準備と合わせて、ペットマナーパトロールを実施する。
- D: 11/3(金・祝)アジア交流植樹活動を実施。ラオス・ミャンマー・ブータンの学生らを招待した。
12/26(火)冬休み自由研究室を開催。
- E: 1/28(日)ふるさと紹介のつどい、絵本作成は大詰め。

2 今後の各プロジェクトの事業展開について

- H30年度でまるごと活性化事業が一旦終了。残していく活動を精査する。
→まちづくり協議会へ取り込むのか?
体制を含めて可能なのか。各部会長とも合同会議を行う必要がある。
1月中に状況まとめ→2月に方向性の決定(理想)
- ・まちづくり協議会に取り込むのではなく、「ふるさとづくり委員会」として残す方がよいのでは?
まちづくり各部会では受皿になるのが拒まれる可能性が大きい。
- ・空間づくりした事業については「管理コスト」が発生してくる。
- ・補助金について→市の予算化が望ましい。また予算も各学区均等割でなく、学区・チーム・内容に
よって精査されるべき。
- ・そもそも現状が「まちづくり協議会」と「ふるさとづくり委員会」の二重組織となっている。
→整理しないとまちづくり協議会での受け皿は厳しいが、整理は現実的に不可能ではないか?
⇒体制継続を市へ要求する方がベストではないか。
- ・各プロジェクトごとに整理を行い、最終ビジョン研究チームにて精査を行う。

次回 グループリーダー会議 2/6(火)19:30～
ふるさとづくり委員会 2/27(火)19:30～

決定事項

各プロジェクトの進捗状況、今後の各プロジェクトの事業展開について

次回以降に ついて

各プロジェクトの今年度の報告と次年度以降の計画、今後の事業展開方針について